

日本エレベーター製造製交流帰還制御ギヤード型エレベーター所有のお客様へ

平素より日本エレベーター製造製エレベーターをご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、弊社が製造納入したエレベーターのうち、すでに生産終了から30年以上が経過しております別表記載のエレベーターにおいて、一部保守部品の代替品開発を見合わせていただくこととなりました。

弊社はお客様のご事情にあわせ、できる限りエレベーターを継続してご利用いただけるよう、長期的な保守部品の供給に努めております。基本的には長期にわたる保守部品供給のために、半導体素子等材料の備蓄や材料が入手困難になったものについては代替品の設計・製造で対応しております。しかしながら、当該エレベーターにつきましては設置から相当年数経過しており、リニューアルにより一層安全にお使い頂くことが必要と判断いたしました。

リニューアルにより、既設エレベーターの継続利用できる部位は残しつつも、戸開走行保護装置の設置や耐震対策を施すと同時に、省エネ化・乗り心地改善・最新のインターフェイスの導入等が可能になります。該当機種のエレベーターを所有されるお客様におかれましては、リニューアルをご検討賜りますよう、宜しく願い申し上げます。

記

1. 該当機種及び代替品開発を見合わせた保守部品(別表)

| 該当機種 保守部品 | 移相器型式 | 生産終了年 | 経過年数 |
|---------------------------------|-------|--------|------|
| 交流帰還制御ギヤード型 制御盤内の駆動制御部品(移相器) | DBL 型 | 1981 年 | 39 年 |
| | ATC 型 | 1987 年 | 33 年 |
| | STC 型 | 1989 年 | 31 年 |

2. ご注意頂きたいこと及び今後の対応について

(1)ご注意頂きたいこと

当該部品はエレベーターの所期性能を発揮させるための重要な部品です。

当該部品に故障が発生した際は、着床誤差の増大、階間停止、閉じ込めなど重大故障の発生や、それに起因するご利用者様への不都合、その他予期せぬ罹災が発生するおそれがあります。

また当該部品に故障が発生した場合に復旧が不可能となり、運行を継続出来ないことも想定されますので予めご承知おき願います。

(2)今後の対応

安全性、信頼性、機能性、省エネルギー性に優れたエレベーターへのリニューアルをご検討賜りますよう、宜しく願い申し上げます。

3. エレベーターの耐用年数

エレベーターの法定償却対応年数は17年と定められており(大蔵省令15号「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」)、また広益社団法人ロングライフビル推進協会(BELCA)のライフサイクル評価指針では、エレベーターの主要機器(制御盤等)の平均耐用年数は20年とされています。

本件についてのお問い合わせは、下記アドレスのホームページよりご連絡いただきますようお願いいたします。

お問い合わせ窓口 URL : <https://www.nichiele.co.jp/>

ご注意いただきたいこと

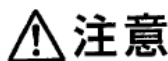
交流帰還制御ギヤード型の駆動制御部品(移相器)

この添付資料は、エレベーターを正しくご利用いただき、エレベーター所有のお客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。



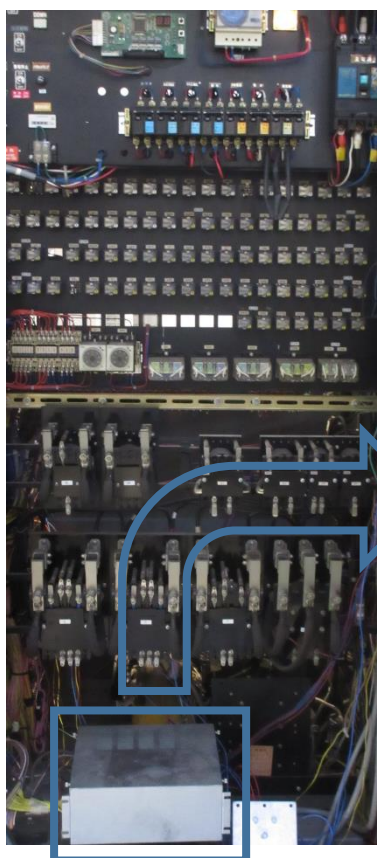
警告

当該部品が故障した場合、起動不能、階間停止閉じ込めなど重大故障や、利用者が転倒されるなど不測の事態が生じるおそれがあります。



注意

当該部品が故障した場合、復旧が不可能となり運行を継続出来ないことも想定されます。



制御盤



駆動制御部品
(移相器)

制御盤内
駆動制御部品
(移相器)

